



IDF PRESS RELEASE

Belfast, 2nd November 2017

IDFプレスリリース

2017年11月2日、ベルファスト発

透明性が大切なアニマルウェルフェア

本日、酪農乳業界のアニマルウェルフェアの結果について
透明性の必要性が世界中で高まっているとIDFワールド
デーリーサミット2017ベルファストで語られた

米国の大手乳業メーカーのディーンフーズ社 Dean Foods Company の酪農責任者ジェニファー・ウオーカー氏 Jennifer Walker は、多くの計画で作成されたガイドラインは監査に耐えられる具体的な成果を出していないと述べた。

ウオーカー氏はサミットで「アニマルウェルフェアのスタンダード(規格)はどうあるべきか、業界の基準をつくる必要があります。監査に耐える測定可能な成果がこの作業の重要な要素になります。」と語った。



ウオーカー氏は、アニマルウェルフェアのような課題について消費者は好感を得たいと欲するが、「牛にとって何が適正か」を優先すべきです。乳業会社は、小売業者、レストランおよび喫茶店のような顧客からアニマルウェルフェアのスタンダード(規格)に関する情報を求められることが多くなった、と述べた。

生乳生産における適正アニマルウェルフェア I D F ガイドのチームリーダーで、O I E の (前) アニマルウェルフェア作業グループのリュック・ミラビト Luc Mirabito 氏は、「生乳生産者がアニマルウェルフェアの高いスタンダード (規格) を目指して最善を尽くしているという酪農乳業界の証拠をもつことが不可欠です。農場の現場でアニマルウェルフェア管理を実践していることが適正な畜産の規範を示す強力な道具になります。この目的を達成するために、O I E のスタンダード (規格) や原則を適用することが重要な出発点になります。」



「世界的な視野でみると、家畜の健康、人間の福祉、社会経済的発展と環境的持続可能性の追求を補足する、そのようなやり方でアニマルウェルフェアを尊重、促進、前進させる世界に至ることをビジョンにしています。」

翻訳：J I D F 事務局

編者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。